

北部九州の船と交流 ～伊都国を中心に～

江野 道和（糸島市教育委員会）

1. はじめに

北部九州は古来より、朝鮮半島・大陸と列島内各地とを結ぶ交流の重要な拠点であった。半島南部から対馬、一支を経て末盧・伊都・奴の各国に至るルートは、『魏志』倭人伝に記された当時の主要外交ルートと位置付けられている。本稿では、北部九州から出土した船に関する資料の紹介を行った後に、日本海沿岸地域の交易の一例として玉作資料を取り上げる。

2. 船の部材（第1図、表1）

糸島地域では、潤地頭給遺跡、上鑑子遺跡、今宿五郎江遺跡、元岡遺跡などで出土例がある。また、福岡県東岸の豊前地域では、延永ヤヨミ園遺跡から堅板が出土している。このうち、潤地頭給例は最も部材が充実しているといえ、6枚の船底部と1枚の舷側板の計7枚が出土している。船底部となる部材はそれぞれ長さ1.2～1.5mほどで、厚みは3.5～4.5cm程度、舷側板は、長さ1.5m、幅23cm、厚さ4.5cmである。いずれにもほぞ穴が穿たれており、桜の皮が残されている穴もみられる。これは船底と舷側を綴るために使われた可能性があり、このことから準構造船であったと考えられる。

3. 舟形木製品（第2図、表2）

弥生～古墳時代までの舟形木製品のうち、残りの良い資料としては福岡市の吉武樋渡遺跡、佐賀県の吉野ヶ里遺跡、長崎県原の辻遺跡などの出土品がある。吉武樋渡例は長さ58.5cm、最大幅11.3cm、最大高9.0cmで、長さ対幅の比は5.1対1となり、舳と艫の形態が異なるところに特徴がある。吉野ヶ里例は長さ49cm、最大幅7.2cmで、長さ対幅の比率は約7対1となり、全体的に細長く、舳艫が共に大きく反り上がる。右舷の縁に櫓座と考えられる凹凸が残っている。原の辻例は長さ62.0cm、幅13.3cm、高さ9.5cmで、長さ対幅の比は4.6対1となり、他の2例と比べ幅広い。舷側板と船底部の接合部を表したと考えられる削り込みや舳部に堅板を固定する可能性のある溝が彫られていることから準構造船を表した可能性がある。

4. 絵画資料（第3図、表3）

絵画資料としては、土器に線刻された絵画と装飾古墳の壁画等がある。このうち、土器の絵画として、原の辻遺跡出土品は壺の頸部付け根付近に、ゴンドラ形の船が上下逆さまに描かれ、船の内側には櫓または漕ぎ手と考えられる縦線がびっしりと並ぶ。福岡県貫川遺跡出土品は、壺の肩部に船の絵が描かれる。舳艫が共に大きく反り上がり、中央部には長方形の箱形を載せ、船の下部には2本の櫓のような線が突き出る。

5. 船の推進具（第4図、表4）

北部九州における最古の例としては、佐賀県の東名遺跡からの出土品があげられ、合計26本が報告されており、いずれも縄文時代早期とされる。弥生時代の例として、福岡市雀居遺跡出土品は先端が鋭利に尖っており、漕ぐだけでなく、竿のように水底を突いて船を動かした可能性がある。

6. 船を介した日本海沿岸地域の交流（第5図）

北部九州と山陰・北陸地方との日本海沿岸交流を示す資料の一つに玉の製作が挙げられる。潤地頭給遺跡では弥生時代後期後半から古墳時代初頭にかけて大規模な玉作り集落が形成されるが、この原石である碧玉の多くは島根県花仙山産であることが判明しており、少量ではあるが、石川県菩提産や新潟県猿八産もある（藁科2011）。

7. おわりに

潤地頭給と併行する時期に北部九州の玄界灘～響灘沿岸地域では玉作りを行う集落が展開していた。玉の原石や加工技術の搬入、製品の搬出等に船が活躍していたことは容易に想像され、この時期、日本海交易が活発に行われていたことを示す一つの証しといえる。

【引用・参考文献】

一瀬和夫 「船・ソリ」『古墳時代の考古学』5（同成社、2012 年）

江野道和 「伊都国の港と船」『伊都国の研究』（学生社、2012 年）

渡部俊哉 「肥前・壱岐の装飾古墳」『考古学ジャーナル』395（ニュー・サイエンス社、1995 年）

藁科哲男 「九州地方使用玉類の組成と同じ組成の玉類の使用圏について」『魏志倭人伝の末盧国・伊都国』（日本玉文化研究会、2011 年）

表 1 主な船の部材一覧表（弥生～古代、北部九州）

図 番号	資料名	遺跡名	遺構名	住 所	時 期	法 量 (cm)	樹 種	出典	備考
1 1	舟材	潤地頭給遺跡	Ⅱ区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	長 143	スギ	1	船底部 1
1 2	舟材	潤地頭給遺跡	Ⅱ区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	長 142	スギ	1	船底部 2
1 3	舟材	潤地頭給遺跡	Ⅱ区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	長 147	スギ	1	船底部 3
1 4	舟材	潤地頭給遺跡	Ⅱ区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末		スギ	1	
1 5	舟材	潤地頭給遺跡	Ⅱ区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	長 120	クスノキ	1	船尾部（艫？）
1 6	舟材	潤地頭給遺跡	Ⅱ区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末		クスノキ	1	
1 7	舟材	潤地頭給遺跡	Ⅱ区 井戸	福岡県糸島市	弥生終末	長 150	スギ	1	舷側板。ほぞ穴に板の皮が残る。
	舟材	上膳子遺跡		福岡県糸島市	弥生中期	長 108		2	艫？
	舟材	今宿五郎江遺跡	SD50	福岡県福岡市	弥生後期初頭	(長 147)		3	船底？
	舟材	今宿五郎江遺跡	SD50	福岡県福岡市	弥生後期初頭	(長 74)		3	船底？
	舟材	元岡遺跡		福岡県福岡市	弥生後期～古墳前期			2	未報告。隔壁？
	舟材？	拾六町ツイジ	(G－3) 第 3 号土坑下層	福岡県福岡市	弥生前期後半	長 (42.3)	クスノキ	4	
	舟材	延永ヤヨミ岡遺跡	井戸	福岡県行橋市	弥生終末			5	未報告。壁板
	舟材	伊木力遺跡	遺物包含層	長崎県諫早市	縄文前期前葉～中葉	長 (650)		6・7・8	船体
	舟材	唐比出土		長崎県諫早市(森山町)				6	船体。堀屋氏、安楽氏のご教授による。

表 2 主な舟形木製品・埴輪一覧表（弥生～古代、北部九州）

図 番号	資料名	遺跡名	遺構名	住 所	時 期	法 量 (cm)	樹 種	出典	備考
1	舟形木製品	今宿五郎江遺跡	SD100	福岡県福岡市	弥生後期初頭	(長 48.8)		1	
2	舟形木製品	今宿五郎江遺跡	SD100	福岡県福岡市	弥生後期初頭	(長 41.5)		1	
3	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 23.7	2	報 22。中央に屋形あり。樹皮を残す。	
4	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 16.2	2	報 23。中央に屋形あり。	
5	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 18.2	2	報 24。中央に屋形あり。樹皮を残す。	
6	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 21.0	2	報 25。中央に屋形あり。	
7	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 20.5	2	報 26。中央に屋形あり。	
8	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 22.3	2	報 27。中央に屋形あり。	
9	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 19.6	2	報 28。中央に屋形あり。	
10	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 22.7	2	報 29。中央に屋形あり。	
11	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 17.5	2	報 30。中央に屋形あり。	
12	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 21.5	2	報 31。中央に屋形あり。	
13	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 17.0	2	報 32。中央に屋形あり。	
14	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 11.7	2	報 33。中央に屋形あり。	
15	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	(長 10.3)	2	報 34。中央に屋形あり。	
16	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	(長 8.4)	2	報 35。中央に屋形あり。	
17	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 10.8	2	報 36。中央に屋形あり。	
18	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 16.3	2	報 37。中央に屋形あり。	
19	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	(長 19.8)	2	報 38。中央に屋形あり。	
20	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 15.2	2	報 39。屋形無し	
21	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 12.9	2	報 40。屋形無し	
22	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 11.5	2	報 41。屋形無し	
23	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 18.8	2	報 42。屋形無し	
24	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 19.3	2	報 43。屋形無し	

図 番号	資料名	遺跡名	遺構名	住 所	時 期	法 量 (cm)	樹 種	出典	備考
25	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX001	福岡県福岡市	7C 末～8C 後半	長 17.1		2	報 44。屋形無し
26	舟形木製品	元岡・桑原遺跡群	池状遺構 SX123	福岡県福岡市	奈良 (7～8C)	長 16.5		3	
27	舟形木製品	拾六町ツイジ	3 号土坑上層	福岡県福岡市	弥生後期初頭	(長 27.7)		4、5、6	
28	舟形木製品	拾六町ツイジ	包含層	福岡県福岡市	古墳中期	長 30.4		7、5	
29	舟形木製品	拾六町ツイジ	包含層	福岡県福岡市	古墳中期 (5C 前半)	(長 30.8)		7、5	
30	舟形木製品	拾六町ツイジ	包含層	福岡県福岡市	古代？	長 17.4		7、5	
2 31	舟形木製品	吉武種波遺跡	旧河川川底	福岡県福岡市	古墳中期	(長 58.5)		8、5	
32	舟形木製品	井相田 C 遺跡	SD01	福岡県福岡市	奈良 (8C 後半)	長 20.4		9、10	
33	舟形木製品	高嶺遺跡 (板付 B-12b・C 区)	SD01	福岡県福岡市	奈良～平安	長 15.3		11	
34	舟形木製品	須玖永田遺跡	2 号井戸	福岡県春日市	弥生後期	(長 21.5)		12	
35	舟形木製品	須玖永田遺跡	2 号井戸	福岡県春日市	弥生後期	(長 13.6)		12	
36	舟形木製品	大宰府条坊跡	SD001 下層	福岡県太宰府市	奈良 (8C 前半～中頃)	(長 35.7)		13、5	
37	舟形木製品	大宰府条坊跡	SD001 下層	福岡県太宰府市	奈良 (8C 前半～中頃)	長 18.4		13、5	
38	舟形木製品	大宰府条坊跡	SD001 下層	福岡県太宰府市	奈良 (8C 前半～中頃)	長 21.6		13、5	
39	舟形木製品	大宰府条坊跡	SD001 下層	福岡県太宰府市	奈良 (8C 前半～中頃)	—		13、5	
40	舟形木製品	大宰府史跡	SD2340 下層	福岡県太宰府市	奈良 (8C 前半)	長 4.8		14、5	
41	舟形埴輪	堤当正寺古墳		福岡県朝倉市	古墳中期 (5C 中頃)	(長 30)		15、16	
2 42	舟形木製品	吉野ヶ里遺跡 (田一本松地区 232 調査区)	SD40	佐賀県神埼市・吉野ヶ里町	弥生中期後半～後期前半	長 49.0	カヤ	17	榎座の表現有。時期については細川金也氏からご教示頂いた。
43	舟形木製品	吉野ヶ里遺跡 (田一本松地区 298 調査区)		佐賀県神埼町	弥生中期後半～後期前半	長 30		未報告	舟形容器か。細川氏、渡部芳久氏からご教示頂いた。
44	舟形木製品	柔畑遺跡	包含層 7 層	佐賀県唐津市	弥生中期	(長 14.5)		18、10	榎部か。
45	舟形木製品	中原遺跡	2 区 SD256	佐賀県唐津市	奈良	長 30.5	マツ属		軸に壁板をはめ込むための溝有。
46	舟形木製品	中原遺跡	2 区 SD256	佐賀県唐津市	奈良	長 23.8	スギ		船底内部 3 ヲ所を深く彫る。
47	舟形木製品	中原遺跡	2 区 SD256	佐賀県唐津市	奈良	長 8.1			
48	舟形木製品	中原遺跡	2 区 SD256	佐賀県唐津市	奈良	(長 14.8)			舟形容器か。
49	舟形木製品	石木遺跡	河川、堰跡 SX006	佐賀県小城市	古墳	長 45.5		20、5	
2 50	舟形木製品	原の辻遺跡	河川跡 SD05	長崎県壱岐市	弥生中期	長 62.0		21、22	

表 3 主な絵画関係資料一覧表 (弥生～古墳、北部九州)

図番号	資料名	遺跡名	遺構名・描かれた位置	住 所	時 期	法 量 (cm)	出典	備考
1	線刻土器	前田遺跡		福岡県太宰府市	弥生後期		1, 2	
3	線刻土器	貫川遺跡		福岡県北九州市			3	
3	彩色壁画	竹原古墳	後室奥壁	福岡県若宮市	6C 後半		4～6, 23	
4	彩色壁画	五郎山古墳	玄室奥壁、玄室東側壁、玄室西側壁、前室北壁	福岡県筑紫野市			7, 4, 23, 24	
5	彩色壁画	瀬戸 14 号横穴	奥壁	福岡県中間市	7C 前半		8, 4, 23	
6	線刻壁画	土手の内横穴 1 号	奥壁	福岡県中間市	—		4, 23	
7	線刻壁画	垣生羅漢山横穴 3a-1 号	前室	福岡県中間市	7C 前半～後半		4, 23	
8	線刻壁画	黒部 6 号墳	玄室左側壁、左玄関	福岡県豊前市	6C 末～7C 中頃		9, 4, 23	
9	彩色壁画	原古墳	玄室奥壁	福岡県うきは市	6C 後半		10, 4, 23	
10	彩色壁画	鳥船塚古墳	玄室奥壁	福岡県うきは市	6C 後半		4, 23	
11	彩色壁画	日岡古墳	玄室右側壁	福岡県うきは市	6C 前半		11, 4, 23	
12	彩色壁画	珍敷塚古墳	後室奥壁	福岡県うきは市	6C 後半		4, 23	
13	彩色壁画	下馬場古墳	後室右側壁	福岡県久留米市	6C 後半		12, 4, 23	
14	彩色壁画	中原狐塚古墳		福岡県久留米市	6C 後半		5, 23	
15	彩色壁画	西船古墳		福岡県久留米市	6C 後半		5, 23, 22	
16	彩色壁画	若宮古墳		福岡県久留米市	—		5	
17	彩色壁画	寺徳古墳		福岡県久留米市	6C 後半		23	
18	彩色壁画	隈 3 号墳		福岡県久留米市	6C 末		23	
19	線刻壁画	福岡山横穴		福岡県八女市			23	
20	線刻壁画	倉永古墳		福岡県大牟田市	6C 後半		5, 23	
21	彩色壁画	萩ノ尾古墳		福岡県小郡市	6C 後半		13, 4, 23	
22	彩色壁画	砥上観音塚古墳	後室奥壁	福岡県筑前町	6C 末		14, 4, 23	
23	線刻壁画	狐塚古墳	後室奥壁、左右側壁	福岡県朝倉市	6C 後半～7C 前半		15, 4, 23	
24	線刻土器	津古 2 号墳		福岡県小郡市	古墳前期		4	
25	線刻壁画	花立山古墳		福岡県小郡市	古墳後期		5	
26	彩色壁画	田代太田古墳	後室袖石、後室奥壁、中室右側壁	佐賀県鳥栖市	6C 後半		16, 4, 23	
27	線刻壁画	天山横穴	内壁	佐賀県多久市	6C 末		4, 23	
28	線刻壁画	北の森古墳		佐賀県多久市	6C 末～7C 初		5	
29	線刻壁画	古賀山 4 号横穴	内壁	佐賀県多久市	7C 前半		4	
30	線刻壁画	妻山 4 号墳		佐賀県白石町	6C 後半		5, 23	
31	線刻壁画	湯崎 2 号墳		佐賀県白石町	6C 末		5, 23	
32	線刻壁画	男猛寺古墳 2 号石室	玄室右側壁、玄室奥壁	佐賀県北方町	7C 前半		17, 4, 23	
33	線刻土器	原の辻遺跡	石田大原地区	長崎県杵枝市	弥生中期後半	9.2 × 2.3	18	船のほかに鯨の絵有
34	線刻土器	カラカミ遺跡		長崎県杵枝市	弥生後期		4	土器焼成後に線刻
35	線刻壁画	鬼屋窪古墳	南側左側壁、右側壁	長崎県杵枝市	7C 後半以降		19, 18, 23	後世の線刻である可能性も
36	線刻壁画	大米古墳	甕石	長崎県杵枝市	6C 末～7C 初		20, 18, 23	後世の線刻である可能性も
37	線刻壁画	尾越古墳	後室右側壁	長崎県杵枝市	7C 前半		4	
38	線刻壁画	兵衛古墳	前室右側壁	長崎県杵枝市	6C 末～7C 前半		18, 23	後世の落書きの下に船の線刻残る
39	線刻壁画	百頭塚 5 号墳	渡道部落石	長崎県杵枝市	6C 後半～7C 初		4, 23	後世の線刻である可能性も
40	線刻壁画	双穴古墳	前室右側壁	長崎県杵枝市	6C 中頃		4, 23	後世の線刻である可能性も
41	線刻壁画	長戸鬼塚古墳	前室左側壁	長崎県諫早市	6C 末～7C 前半		4, 23	

〔出典 表 1〕

- 前原市教育委員会『潤地頭給遺跡』(2005年)
- 伊都国歴史博物館『倭人の海遣—支国と伊都国』(2007年)
- 二宮忠司『福岡市 今宿五郎江遺跡Ⅱ』(福岡市教育委員会、1991年)
- 山口譲治・松村道博編『拾六町ツヅシ遺跡』(福岡市教育委員会、1983年)
- 『発見! 古代の交流拠点～延永ヤヨミ園遺跡の発掘現場から』『市報 ゆくはしNo.1096』(2001年7月1日号)
- 福岡市歴史資料館『古代の船』(1988年)
- 同志社大学考古学研究室編『伊木力・熊野神社発掘調査概報』(多良見町教育委員会、1985年)
- 同志社大学考古学研究室編『伊木力遺跡 第2次発掘調査概報』(多良見町教育委員会、1986年)

〔出典 表 2〕

- 二宮忠司『福岡市 今宿五郎江遺跡Ⅱ』(福岡市教育委員会、1991年)
- 福岡市教育委員会『元岡・桑原遺跡群8 20次調査報告』(2007年)
- 福岡市教育委員会『元岡・桑原遺跡群12 7次調査報告』(2008年)
- 山口譲治・松村道博編『拾六町ツヅシ遺跡』(福岡市教育委員会、1983年)
- 久保寿一郎『日本古代の船舶資料・舟形模造品資料集』(九州考古学) 61号 (九州考古学会、1987年)
- 久保寿一郎『舟形模造品の基礎的研究』『東アジアの考古と歴史 下』(同朋社、1987年)
- 福岡市埋蔵文化財センター『収蔵資料目録第1集 西区拾六町ツヅシ遺跡Ⅰ』(1985年)
- 横山邦雄・下村賢『吉武遺跡出土の模造船について—福岡市西区大字吉武坂町地区の調査』『考古学ジャーナル』241 (1985年)
- 福岡市教育委員会『井粕田C遺跡Ⅰ』(1987年)
- 福岡市歴史資料館『古代の船』(1988年)
- 福岡市教育委員会『板付周辺遺跡調査報告書(9)』(1983年)
- 春日市教育委員会『須玖永田遺跡』(1987年)
- 太宰府町教育委員会『大宰府条坊跡 観世音寺地区遺跡整理に伴う発掘調査(Ⅰ)』(1982年)
- 九州歴史資料館『大宰府史跡 昭和58年度発掘調査概報』(1984年)
- 甘木市教育委員会『堤端正寺古墳』(2000年)
- 立命館大学考古学論集刊行会『原船・古代の船Ⅰ』(2013年)
- 佐賀県教育委員会『吉野ヶ里遺跡—平成8年度～10年度の発掘調査の概要』(2003年)
- 唐津市教育委員会『架橋遺跡』(1982年)
- 佐賀県教育委員会『中原遺跡Ⅰ』(2007年)
- 佐賀県教育委員会『石木遺跡』(1976年)
- 原の辻遺跡保存等協議会『原の辻遺跡』(2000年)
- 林隆広『原の辻遺跡と舟』『原の辻ニュースレター』26 (長崎県教育庁原の辻遺跡調査事務所、2006年)

〔出典 表 3〕

- 西日本新聞社『船の文様入り土器片を発掘』(1990年4月24日)
- 浅利幸・「土器に描かれた船—弥生—古墳出現期を中心として—」『市原市文化財センター研究紀要Ⅱ』(財団法人市原市文化財センター、1993年)
- 財団法人北九州市教育文化財埋蔵文化財調査室『貫川遺跡7』(1993年)
- 福岡市歴史資料館『古代の船』(1988年)

表 4 主な樫状木製品一覧表 (縄文～古墳、北部九州)

図番号	資料名	遺跡名	出土地点・遺構	住 所	時 期	法 量 (cm)	樹 種	出典	備考
1	樫状木製品	雀居遺跡	第 4 次調査 SX12	福岡県福岡市	弥生前期末～中期初頭	長 138.7	シイ	1～6	完形 1
2	樫状木製品	拾六町ツヅシ遺跡	第 3 号土坑	福岡県福岡市	弥生後期初頭	長 109.7	(散孔材)	7, 4～6	破片 1
3	樫状木製品	拾六町ツヅシ遺跡	第 4 号土坑	福岡県福岡市	弥生	長 (56.2)	タイミンタチバナ	7, 4～6	
4	樫状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 101.4	カシ	8, 9, 4～6	
5	樫状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 101.1	カシ	8, 4～6	
6	樫状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 105.3	カシ	8, 4～6	
7	樫状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 (98)	カシ	8, 4～6	
8	樫状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 (90)	カシ	8, 4～6	
9	樫状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 (82)	カシ	8, 4～6	
10	樫状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 94.8	カシ	8, 4～6	
11	樫状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 100.7	カシ	8, 4～6	
12	樫状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 99.3	カシ	8, 9, 4～6	
13	樫状木製品	長行遺跡		福岡県北九州市	弥生前期末	長 100.3	カシ	8, 4～6	
14	樫状木製品	金山遺跡	V 区 B 91 東第 6 層下層～7 層	福岡県北九州市	弥生終末～古墳初頭	長 72.7	アカガシ運属	10, 11, 4～6	
15	樫状木製品	峠遺跡	1 区 4a・4b 層	福岡県北九州市	弥生前期末～中期	長 (82.4)		12, 4～6	
16	樫状木製品	峠遺跡	1 区 4a・4b 層	福岡県北九州市	弥生前～中期	長 (13.8)		12, 4～6	
17	樫状木製品	上糠子遺跡	1 区 3 層	福岡県糸島市	弥生中～後期	長 (88.2)		4～6	
18	樫状木製品	夜白・三代遺跡群大森地区	OMR 区・第 6 区	福岡県新宮町	古墳前～中期	長 100.8		13, 3～6	完形 1
19	樫状木製品	貫川遺跡	1SX001	福岡県太宰府市	弥生時代後期～古墳前期	長 (75)		14, 4～6	
4 20	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (115.3)	ヒサカキ	15, 4～6	報 45
4 21	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚間層 6	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (50.6)	クスノキ科	15	報 55
22	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚間層 1	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (29.8)	ヤマハゼ	15	報 47
23	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚 SK2056	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (66.1)	クスノキ科	15	報 48
24	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (32.0)		15	報 49
4 25	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (40.8)	イヌガヤ	15	報 50
26	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚間層 3	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (34.1)	クスノキ科	15	報 51
4 27	樫状木製品	東名遺跡	第 1 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (30.0)	ニガキ	15	報 52
4 28	樫状木製品	東名遺跡	第 1 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (18.2)	ヒサカキ	15	報 53
29	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (17.8)		15	報 54
30	樫状木製品	東名遺跡	第 1 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (17.0)	サカキ	15	報 55
31	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (18.1)		15	報 56
32	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (33.3)	マキ属	15	報 57
33	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (25.9)	ヒサカキ	15	報 58
34	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚Ⅶ層	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (24.0)		15	報 59
35	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚間層 6	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (21.6)	ヒサカキ	15	報 60
36	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (18.8)	サカキ	15	報 61
37	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (19.1)	モッコク	15	報 62
38	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚間層 1	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (19.7)	ヒサカキ	15	報 63
39	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (19.6)	カヤ	15	報 64
40	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚間層 1	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (21.5)	ゴンズイ	15	報 65
41	樫状木製品	東名遺跡	第 1 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (19.2)	クスノキ科	15	報 66
42	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚 SK2021	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (9.9)	カヤ	15	報 67
43	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚間層 3	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (14.7)	クスノキ	15	報 68
4 44	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (32.7)	サカキ	15	報 69
4 45	樫状木製品	東名遺跡	第 2 貝塚	佐賀県佐賀市	縄文早期	長 (8.7)	サカキ	15	報 70
46	樫状木製品	里田原遺跡		長崎県平戸市	弥生早期	長 108		16, 4～6, 9	

- 『九州の遺跡・古墳』(http://www.netpia.jp/history/kofun.htm)

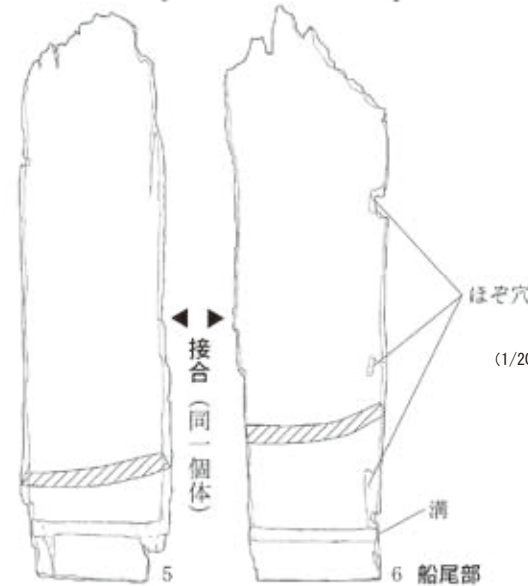
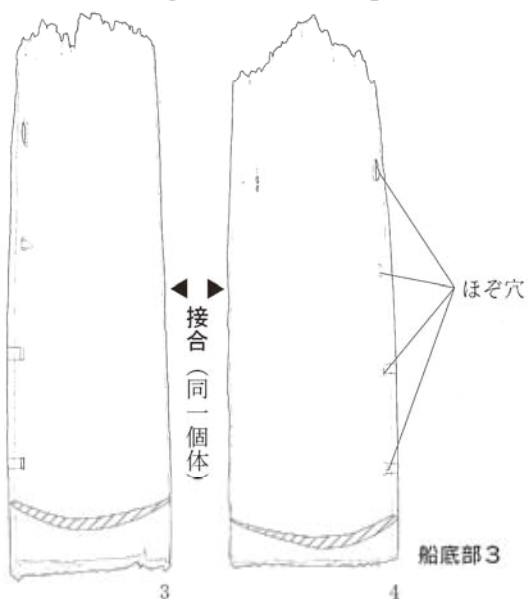
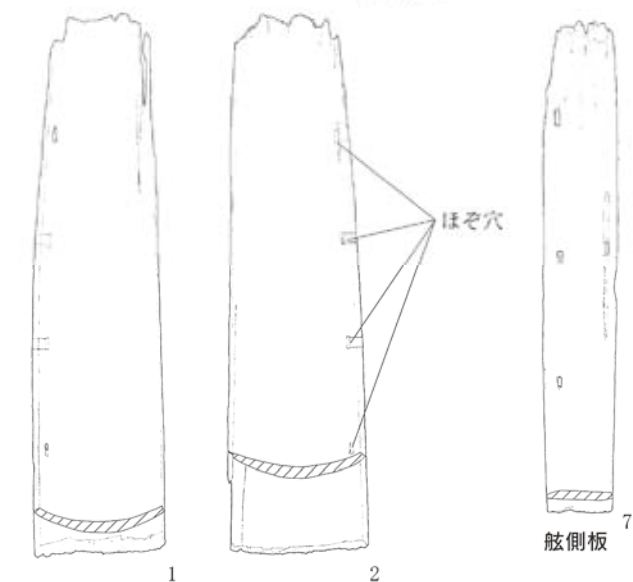
- 金岡丈夫『鞍手郡若宮町竹原古墳奥壁の壁画』『九州考古学』19 (1963年)
- 九州考古学会『北九州古文化図鑑2』(1951年)
- 小田富士夫『福岡県瀬戸裝飾模刻調査概報』『史蹟』74 (1957年)
- 玄洋開発会社『黒部古墳群』(1979年)
- 島田彦彦『筑後に於ける二、三の裝飾古墳の新例』『歴史と地理』14-1 (1938年)
- 島田彦次郎『日ノ月ノ岡古墳』『福岡県史蹟名勝天然記念物調査報告書 第一輯』(1925年)
- 福岡県『石室古墳』『福岡県史蹟名勝天然記念物調査報告書 第一輯』(1925年)
- 大牟田市教育委員会『大牟田市文化財解説』(1960年)
- 玉泉大栄『朝倉郡城上山観音塚古墳の調査』『福岡県史蹟名勝天然記念物調査報告書』7 (1932年)
- 渡辺正気・吉岡精一『筑後朝倉郡狐塚古墳』『福岡県文化財調査報告書』17 (1954年)
- 『田代太田古墳』『佐賀県史蹟名勝天然記念物調査報告書 第一輯』(1928年)
- 佐賀県立博物館『裝飾古墳の壁画』(1973年)
- 村川逸郎『杵岐島内「船」に関する線刻土器及び古墳の線刻壁画』『原の辻ニュースレター』24 (長崎県教育庁原の辻遺跡調査事務所、2006年)
- 那珂島康司・木村幾太郎『鬼屋久保』『杵岐郡土館、1981年』
- 郷ノ浦町教育委員会『大米古墳』(2000年)
- 赤司善孝『本鶴山麓の裝飾古墳—西船古墳を中心とした近年の調査成果』『月刊 考古学ジャーナル』395 (ニューサイエンス社、1995年)
- 西山由美子『古墳に描かれた船』『裝飾古墳の展開』埋蔵文化財研究会 (2002年)
- 筑紫野市教育委員会『国史跡 五郎山古墳』(1998年)

〔出典 表 4〕

- 力武卓治『雀居』(福岡市教育委員会、2003年)
- 下村賢『雀居遺跡2』(福岡市教育委員会、1995年)
- 吉田知史『日本原始・古代の樫の研究』『待兼山論議』(大阪大学大学院、2005年)
- 江野道和『原始・古代船の推進具(上) — 研究史から考古資料の分類まで』『伊都国歴史博物館 紀要』3 (2008年)
- 江野道和『原始・古代船の推進具(中) — 縄文時代から古墳時代を中心とした推進具集成』『伊都国歴史博物館 紀要』4 (2009年)
- 江野道和『原始・古代船の推進具(下) — 縄文時代～古墳時代の推進具集成』『伊都国歴史博物館 紀要』5 (2010年)
- 福岡市教育委員会『拾六町ツヅシ遺跡』(1983年)
- 北九州市教育文化事業団『長行遺跡』(1983年)
- 山田昌久編『考古資料大観 Ⅷ』(小学館、2003年)
- 出土土器研究会開催事務局、(財)北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室、惟田町教育委員会『第13回 出土土器研究会資料』(2001年)
- 北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室『金山遺跡Ⅰ・V区』(1999年)
- 財団法人 北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室『冷水遺跡第3次・峠遺跡第3次・長野フナ遺跡(6D・6E区)』(2005年)
- 西山大輔『夜白・三代地区遺跡群 第4冊』(新宮町教育委員会、1994年)
- 太宰府市教育委員会『太宰府・佐野地区遺跡群Ⅵ—龍川遺跡第1次調査』(1996年)
- 佐賀県教育委員会『東名遺跡群Ⅱ』(2009年)
- 安樂館『里田原遺跡』(田平町教育委員会)

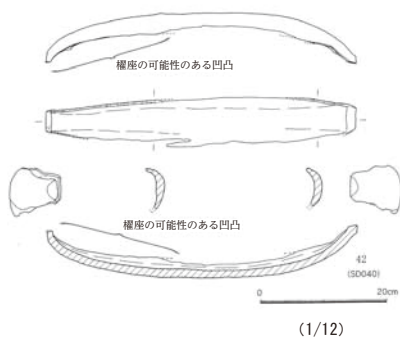
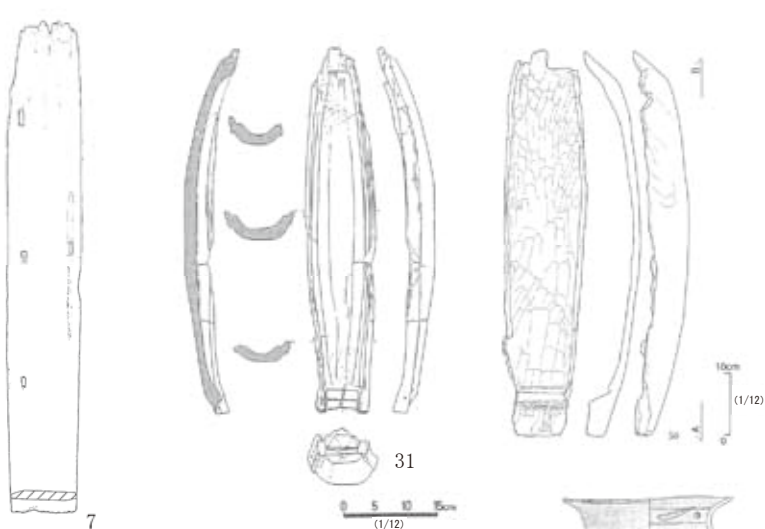
船底部 1

船底部 2



※船底部 1 と 2 は接合せず別個体。船底部 3 と船尾部のそれぞれの 2 枚については同一個体である。

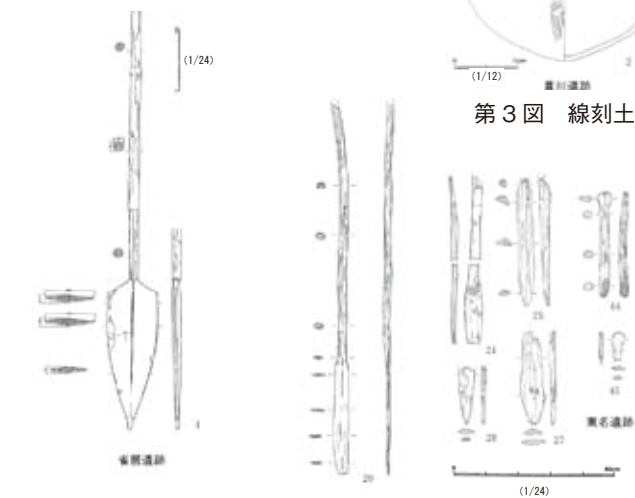
第 1 図 潤地頭給遺跡出土準構造船部材



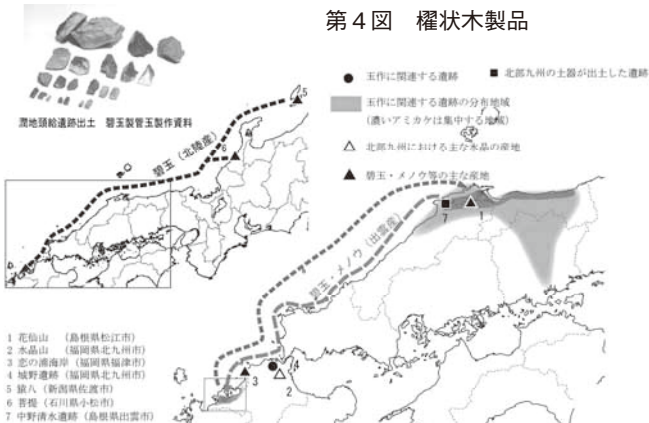
第 2 図 舟形木製品



第 3 図 線刻土器



第 4 図 櫂状木製品



第 5 図 日本海沿岸地域の交流（玉作り）